

- 「電子タグを用いたITS応用技術の研究開発」の開始について
—横須賀ITSリサーチセンターの開所—
 - 平成17年6月1日
-

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)は、横須賀リサーチパーク(以下YRP。)に横須賀ITSリサーチセンターを開所し、道路交通の安全性の向上を目指し、高度道路交通システム(以下ITS。)の拠点研究開発プロジェクトを、平成17年6月1日に開始します。

記

プロジェクト名称:「電子タグを用いたITS応用技術の研究開発」

背景:

高齢化社会を迎え、老人などの交通弱者の交通事故、特に死亡に至る事故が顕著である。このような状況に対し、交差点等の出会い頭の事故や右左折衝突事故など、交通弱者に対する交通事故削減施策が急務となっている。

研究開発概要:

最先端の電子タグ技術、DSRC(ETCで用いられる狭域通信)技術等を用いて人と道路と車両を一体のシステムとして構築することにより、道路交通における安全・安心の実現を目指す。具体的には、アクティブ型電子タグと路面等に設置するエリア設定が可能な電子タグ起動信号による電子タグ制御技術を応用することにより、自転車、歩行者等の個体情報や位置情報を危険予知情報として、路側通信装置または車載機に情報配信し、車両運転者に注意喚起する。

このような技術の完成により、自転車の飛び出し事故や歩行者の巻き込み事故等の低減に役立つことが期待される(別紙に研究開発課題の概念図を示す)。

研究期間: 平成17年6月1日～平成20年3月31日(約3ヵ年)

研究拠点: 独立行政法人情報通信研究機構 横須賀ITSリサーチセンター
横須賀市光の丘3番2-1

研究体制: プロジェクトリーダー 井原 俊夫(関東学院大学工学部電気電子情報工学科教授)を中心に、民間企業から研究員を結集して研究開発を実施。

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
奥山利幸、大野由樹子

Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>

情報通信研究機構 拠点研究推進部門
拠点研究推進室

林 義也、古谷 実

TEL 03-3769-6820、FAX 03-5439-7320

電子タグを用いたITS応用技術の研究開発

- ・交通弱者の交通事故削減 等
- ・交差点での歩行者等の認識支援、出会い頭衝突防止支援

